

もう2月です、花粉症の季節がやってきました！アレルギーの定期処方には予約は必要ありません。診察時間内にお越しいただきすぐに対応させていただきます。大人の花粉症のお薬も対応可能です。昨年からはじめた育児サークルですが2月はオミクロン株流行が懸念されるため中止としました。無料の育児相談は引き続き行っています。こんな時期だからこそ孤立するお母さん達のサポートを行っています。ぜひご予約ください。

院長 池澤 滋

感染症情報 12/20~1/23	前回	今回
アデノウイルス	2	6
溶連菌感染症	3	4
感染性胃腸炎	49	218
水痘（水ぼうそう）	1	0
手足口病	189	9
RSウイルス	18	49
突発性発疹	18	5
りんご病	0	0
ヘルパンギーナ	10	1
キャンピロバクター	1	1
インフルエンザA	0	0
インフルエンザB	0	0
おたふく風邪	1	0

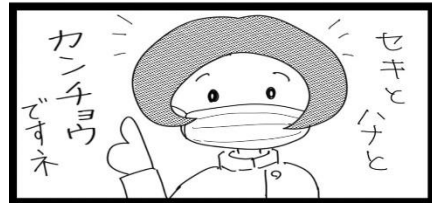
住所：合志市野々島 2461

（ユーパレス弁天 北側）

TEL：096-242-6633

診療時間：9：00～／14：00～18：00

休診日：木曜・土曜午後・日曜祝



実話

「乾燥しています」

マスクをつけていると、どうしても聞き取りづらい。先日こんな恥ずかしい失敗をしてしまいました。

4コマまんが
作・絵
ちえこ&きみこ

『おだいじに』を伝えたい

久しぶりに、夫と二人で映画を観に行くことにした。

予約しようとパソコンで座席の画面を除くと、サタデーナイトだということに上映会場にほぼ観客がいない。自分では滅多に買わないが、ポップコーンでも買ってこの際ポリポリムシャムシャ周りを気にせず食べながら映画が観られそうだった！数年ぶりにコーラだって飲んじゃうぞーとニンマリしながら映画館へ。

『コーダ～愛の歌～』



明るい、しかしとても貧しい「聾啞者」の家族。そこに一人だけ健聴者の子が生まれ、娘は家族の通訳として過ごしてきた。耳の聞こえない家族と素晴らしい歌声を持つ少女。でもその歌声は家族には届かない。才能を見出され音楽大学へ推薦を受ける娘と、通訳として家に残るよう懇願する家族。しかしあるきっかけで父親は彼女の才能に気がつく……。ポップコーンもコーラも忘れるほど泣きっぱなしの後半、観たあともずっと『家族とは？自分の人生とは？』を考える素晴らしい映画だった。私達健聴者は「言葉」によって人との繋がりを遠ざけてしまったように感じる。泣いたり笑ったり感情をぶつけ合いながら生きる彼らの人生を見ると、手話は言葉をはるかに超えるのだと羨ましくさえ思う、そんな映画だった。



コロナが流行し始めた2年前、当院は朝礼の挨拶実習に手話を取り入れた。私が手話を勉強し始めたきっかけは18年前に外来で「おだいじに」そのたったひとりが伝わらない患者さんがいたからだ。

背中をむけてドアを出ていく耳の不自由な患者さんへそのひとりが言いたくて始まった手話の学び。院長も、私の子ども達も聾者への理解が深まり、それが手話を学ぶきっかけになった。私達家族は手話サークルで聾者の知り合いもでき、辞めてしまった今でも偶然に外で会えば「久しぶり！」と声、いや手話をかける。ある聾者が一度私に放った手話が忘れられない。

『家族全員が聾者で良かった』一人の人間として、そして母親として、社会からの疎外感を秘めた強い瞳で放ったあの言葉は、今でも私の中に残る。（似たような場面が映画の中にも出てくるのでぜひ皆さんにも観て欲しい。）聾者と健聴者、例えわかりあえなくても、今日も明日もこの先も、私は看護師である限り「おだいじに」を伝えたい。

「おはようございます」「こんにちは」「お待たせしました」2年前はぎこちなかった手話での朝礼も今では滑らかに出来るようになったスタッフ。ささやかな学びの積み重ねが心からの『おだいじに』を伝えられますように。

文責 池澤千恵子

